



2025～2026 年度
RI 会長メッセージ

UNITE FOR GOOD
よいことのために手を取りあおう

豊橋北RC
会長テーマ

利他と言う高みに登る為に
本気でやるべきことを
皆でやりましょう

2760 地区

例会日＝毎週火曜日 12:30 例会場＝ホテルアークリッシュ豊橋 会長 高坂泰弘 副会長 酒井和良 幹事 川口和樹

豊橋北ロータリークラブ 〒440-0075 豊橋市花田石塚 42-1 豊橋商工会議所内 TEL(0532)53-1000 FAX(0532)53-6447

第 3 2 2 1 回例会

8 月 5 日〈火〉

vol. 70 No. 4

ゲ ス ト : 恩田多賀雄氏(株)Deto 代表取締役社長/始動塾 主宰・恩田純礼氏(株)Deto 社長秘書)
杉浦啓益氏(杉浦会計事務所 所長)
ハサン モハammad タンヴィル君(米山奨学生)
ディン ゴック ドック君・アルファロ フェレイラ君(サンクス奨学生)
ビ ジ ター : 中戸亜美さん(豊橋 RAC 会長)・片山梨子さん(豊橋 RAC 2024-25 年度会長)
出 席 報 告 : 会員 58 名 欠席 11 名 出席率 81.03% 前々回修正 94.12%
ロータリーソング: それでこそロータリー メニュー: 和 食

会長挨拶・報告

高坂泰弘会長



本日のゲストは(株)Deto 代表取締役社長、始動塾主宰の恩田多賀雄様、(株)Deto 社長秘書の恩田純礼(すみれ)様。体験例会でお越しいただきました杉浦会計事務所所長の杉浦啓益(ひろやす)様。米山奨学生のハサン モハammad タンヴィル君、サンクス奨学生のディン ゴック ドック君、アルファロ フェレイラ君。そしてビジターとして豊橋 RAC

会長の中戸亜美さん、同じく前年度会長の片山梨子さんも例会に参加いただいております。

選挙も終わり、アリーナの問題で豊橋も二分された感がありましたが、そうしたもやもやを一挙に吹き飛ばし、豊橋全体が同じ方向を向いているのが豊橋中央高校の甲子園出場です。豊橋中央高校は 7/27 の愛知県大会決勝でタイブレークの激闘の末、甲子園出場を決めました。

エースの高橋大喜選手は瓦町にある寿司屋の息子さんです。また、当クラブの中立清昭会員の息子さんの大翔(ひろと)君が同校野球部に所属されており、1 年生ながら県大会の試合に出場して活躍されました。他の選手の皆さんも殆どが地元豊橋の子達です。日刊スポーツでは、最上位評価の横浜高校、健大高崎高校に次いで、出場 49 校の内 5 校が A 評価とされており、その中に豊橋中央高校も入っています。初戦は 8/10(日)18:45 からとなりますので、是非皆さんも応援をお願いいたします。

成長、向上という意味から、会員全員が常に前向きに進み続け、困難を乗り越えて高みを目指し、心身ともに豊かに成長していきたいという思いを込めました。

豊橋 RAC の現在の会員数は 11 名です。もしこのまま会員が増えなければ、5 年後には現在の会員が全員卒業して、会員数 0 名となってしまいます。クラブを存続していく上で、会員数の増大と組織力の強化が必要不可欠となります。

一般の方向けには今までと同じくボランティアサイトを活用し募集を行います。またロータリアンの皆さんに RAC の活動を広め、企業派遣会員を増やし、会員増強を図りたいと考えています。18～30 歳までの若い社員の方をご紹介いただけてローターアクトは楽しい、成長できそうと感じていただける方を見つけないと思っています。必ず入会していただかなくても、ボランティアが好きという方でなくても、社員の研修として活用していただいても構いません。ローターアクトは成長、交流ができるということも大きな魅力です。是非一度例会に社員の方と一緒に例会にご参加いただければと思います。

5 年後には現在の会員が 0 名になる＝ベテランの会員の卒業が迫っているということでもあります。どんなに立派な活動をしていても、会員が 0 になってしまっただけでは意味がありません。選ばれる、継続していける奉仕団体となる為に、例会への取り組み方を見直し、今年度は理事会や例会のやり方を変え、少しでも負担が軽減されるように、また zoom 例会を設けることで距離や仕事の都合で参加しにくい会員の参加率アップや、ローターアクトの楽しさを見つけやすくしていきたいと考えています。

【豊橋ローターアクトクラブ 2025-26 年度所信表明】

中戸亜美 豊橋 RAC 会長



の豊橋 RAC 会長を務めることになりました。

今期のクラブテーマは「昇(しょう)」です。この漢字の上昇、

【豊橋ローターアクトクラブ 2024-25 年度活動報告】

片山梨子 豊橋 RAC2024-25 年度会長



前年度、豊橋 RAC は「恩返し」をクラブテーマに掲げ、一年間活動を行いました。このテーマには会員一人一人が「ありがとう」の感謝の気持ちを持って行動していったほしいという願いを込めました。

昨年度はクラブ創立 50 周年という大きな節目を迎え、記念事業や記念式典の開催に向けて、会員全員が

一丸となって準備に取り組みました。振り返ると、準備や活動を通して会員同士が協力し、たくさんの「ありがとう」が飛び交うクラブであったと感じます。今後も引き続き、感謝の気持ちを忘れずに活動に励んでまいります。

2024/9/14～15の2日間、表浜海岸及び江比間野外活動センターにて50周年記念事業を実施しました。表浜海岸で清掃活動、アカウミガメに関する講演会を開催し、海洋ゴミや環境問題について考えるきっかけとなる有意義な活動となりました。

2025/3/15には豊橋商工会議所にて50周年記念式典を開催いたしました。プログラムでは過去10年間の活動発表や、書道パフォーマンス、記念事業報告を行い、ご出席いただいた皆様にクラブの活動内容や思いをお伝えすることができました。

2025/4/12、当クラブが7年ぶりにホストを務め、豊橋公会堂にて第35回地区年次大会を開催いたしました。当日は地区の活動報告、大会決議、地区表彰、卒業表彰など、多くのプログラムを行いました。地区表彰では当クラブの永田翔会員が自分らしいスタイルで奉仕活動を行い、自クラブのみならず、地区全体にも良い影響を与えた人に贈られるスタイル賞を受賞しました。クラブのメンバーがこの様な形で表彰されたことを、会長としても非常に嬉しく、誇らしく思いました。

一年間を通して参加者が100名を超える規模の行事を3回も開催できたことは、私達にとって大きな誇りです。昨年は豊橋北RCの皆様にも当クラブの行事に多数ご参加いただき、誠にありがとうございました。今年度も変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、豊橋RACをどうぞよろしくお願いいたします。

【米山奨学生奨学金授与】

ハサン モハammad タンヴィル君



【豊橋北ロータリークラブ奨学生奨学金授与】

ディン ゴック ドゥク君



アルファロ フェレイラ君



入会式

【新入会員紹介】



河合 修治 (かわい しゅうじ) 氏
蒲郡信用金庫 専務理事・豊橋支店長
推薦者 山内有恒会員
1960年9月1日生 64歳
愛知学院大学卒
趣味…ゴルフ 格闘技観戦 読書
所属委員会…会場

【ロータリーバッジ授与】



【入会挨拶】

河合修治会員

蒲郡信用金庫豊橋支店長を務めております河合修治と申します。6/20付で前任の岩崎篤雄から豊橋支店長職を引き継ぎ、この度豊橋北RCに入会する機会を頂きました。7/25のインフォメーションでは、高坂会長、川口幹事、岡本R情報委員長から心構え等をご教示いただき、推薦者の山内会員からも色々ご指導いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。豊橋北RCは来年創立70周年を迎える大変輝かしい歴史を有しており、この様なクラブに入会できることを大変嬉しく思っております。

私は1960年9月1日に田原市で生まれ、現在64歳です。現在も田原市の滝頭公園の近くに住んでおります。家族は4人ですが、子ども2人はそれぞれ所帯を持ちましたので、現在は妻と2人で生活しています。孫も4人おります。

蒲郡信用金庫には1983年3月に入庫し、42年が経過しました。その間、3支店の支店長、融資部長等を務め、今年の6/1に専務理事を拝命しました。

趣味はスコア100切りを目指しているゴルフ、大相撲観戦です。最近では陶器にも興味が湧いてきました。また先日、話題の映画『国宝』を見てきましたが、結構な大作でしたので見ていない方は是非見ていただければと思います。

高坂会長は「利他と言う高みに登る為に本気でやるべきことを皆でやりましょう」というクラブテーマを掲げていらっしゃいます。私も豊橋北RCに入会するに際し、このテーマをしっかり心に刻み、地域社会に貢献していきたいと思っております。皆様方のご指導ご鞭撻を切にお願いいたします。今後ともよろしくお願いいたします。

【入会歓迎挨拶】

高坂泰弘会長

河合修治さん、ご入会おめでとうございます。クラブに早く馴染んでいただき、分からないことがありましたら遠慮なく聞いてください。通常は蒲郡信用金庫の豊橋支店にいらっしゃることですので、会員の皆様も支店に顔を出していただければと思います。また蒲郡信用金庫は、私達と同様に東日新聞の少年野球の後援をされています。中央高校のメンバーの中にも、小学生の時にこの大会に出場していた子達もいるのではないかと思います。そうしたご縁もありますので、今後ともよろしくお願いいたします。

幹事報告

川口和樹幹事

- ①渡辺全佳会員より 25 年 8 月 1 日から 27 年 7 月 31 日まで休会されるとのお申し出がありました。(海外勤務の為)
- ②2025-26 年度前期会員証、R 財団確定申告用寄附金 1~6 月分領収証を状差しに配布しました。
- ③ガバナー事務所より、ガバナー月信 7 月号 P52 の豊橋南 RC 会長、幹事の写真が逆になっていたとの訂正連絡がありました。

例会変更

8 月 22 日(金) 新城 RC

例会休会

なし

委員会報告

ロータリー財団委員会

安達道行委員長

水越英明会員より 180 ドルの寄付がありました。ありがとうございました。

豊橋北 RC 奨学金基金

藤井純一委員長

山本和正会員、鈴木大次郎会員、八木基之会員、下山暢子会員、川口和樹会員、小森宇生也会員、田崎政秀会員、杉野公郎会員、小林利生会員、橋本努会員、辻直樹会員、水越英明会員より 1 千円の寄付がありました。ありがとうございました。

青少年奉仕委員会

辻直樹委員長

次回 8/19 の例会は Sakura Projects 代表の井上亜里沙氏をお招きし、「サイエンスでくらしに花を咲かせよう」というテーマでお話をさせていただきます。

ニコニコボックス

匹田雅久会場委員

山内有恒会員	①本日入会の蒲郡信用金庫専務理事・豊橋支店長河合修治氏を紹介させていただきます。 ②昨日サンクス大使クリスティンの博士論文最終発表会に藤井国際奉仕委員長と一緒に参加し、全編英語の発表を一時間聴いてきました。その後、安達会員も加わりお祝いを含めた食事会を開催しました。
下山暢子会員	①母の弔いに多くの方々のお心遣いを賜りました。心より感謝申し上げます。 ②杉浦さん、体験例会にようこそ。
酒井和良会員	7/16(水)より胆石性胆嚢炎で一週間入院しました。お陰様で無事退院し、現在は体調も回復しています。入健康の大切さを改めて実感した一週間でした。
石川誠会員	杉浦会計事務所所長の杉浦啓益様、体験例会へのご参加、誠にありがとうございます。歓迎いたします。下山会員、ご紹介ありがとうございます。
小森宇生也会員	本日例会を担当します。恩田多賀雄様、純礼様、わざわざ岐阜からお越しいただき感謝感激です、よろしくお願いいたします。
杉野公郎会員	8/3 に釣り天狗クラブの第 1 回例会に参加してきました。天竜沖でアジとタチウオを釣ってきました。楽しかったです。
河合修治会員	本日から入会します。よろしくお願いいたします。
高坂泰弘会員 川口和樹会員	㈱Deto・指導塾主催 恩田多賀雄様、恩田純礼様、ようこそ豊橋北 RC へ、ご来訪を心より歓迎します。本日の卓話、楽しみにしております。よろしくお願いいたします。

本日のプログラム

担当：職業奉仕

小森宇生也委員長



本日の例会は「企業経営には何故哲学が必要であるか」というテーマでお話をさせていただきます。ロータリアンが企業経営を通して献身的な奉仕活動を行う為には、まず自分の職業を高潔なものとしなくてはならないと思います。哲学というと少し固いかもしれませんが、企業を経営

する為の考え方を今一度見直す機会を設け、皆さんの企業が更に発展する一助となればと思っております。

私は 3 年程前に、京セラの創業者・故稲森和夫氏が主宰する盛和塾の流れをくむ盛心塾三河に入塾し、稲盛氏の提唱する教えを色々と勉強させていただきました。その例会の中で、本日のゲストである恩田多賀雄様の講演を聞かせていただき非常に感銘を受けましたので、皆さんとも是非シェアしたいと思い、本日はご無理を申し上げてお越しいただきました。

恩田多賀雄様は㈱Deto の代表取締役を務めていらっしゃいます。自身の会社が経営危機に陥った際に、藁にも縋る思いで盛和塾に入塾されたそうです。稲盛氏の提唱する経営 12 か条を実践したことで、困難な経営状況を見事に乗り越え、以降業績を順調に伸ばされています。

恩田様の経営哲学の中心にあるのは。「あなたもよくなれ、私もよくなれ、みんなよくなれ」という思いです。この理念を社是として、自分のことだけを考えるのではなく、あなたもみんなも一緒によくなろうといつも確認しあいながら仕事をされています。また現在では始動塾主宰として、日本各地で開催される勉強会で、経営 12 か条を中心に稲盛氏が提唱する様々な教えをお話しされています。

それではよろしくお願いいたします。

【企業経営には何故哲学が必要であるか】 恩田多賀雄氏



故稲森和夫氏はご存知の通り京セラの創業者であり、その他にも KDDI の設立、JAL の民事再生にも尽力された方でもあります。私は先程ご紹介いただきました通り、稲森氏＝稲森塾長に、経営とは何かということをしただけ教わりました。その時に学んだことは、経営には経営のセオリーがあるということです。

稲盛塾長は「経営には経営のセオリーがあるが、誰もそのセオリーを習っていない」と仰っていました。経営者は皆、自分で本を読んだり、経営者の会に参加したり、切磋琢磨したりしながら成長されていると思います。しかし、それだけでは弱いのではないかと、経営には経営のセオリーがあるとして、それを「京セラフィロソフィ」という形にまとめられました。

稲盛塾長は「飛び石を打つな」、つまり自分の事業の範囲を超えた事業をしてはいけないということを言っておられましたが、そう言っていた塾長本人が飛び石を打つ＝第二電電(現 KDDI)を設立することになりました。しかし、実はこれは飛び石ではなく、経営のフィロソフィがうまく使えるのかどうかを試す為の大いなる実験、挑戦でした。第二電電はその後 KDDI となり、現在では約 6 千億円の経常利益を上げる企業となっています。

JAL を再生するという話が出た時は私も塾生の一人でした。当時の JAL は普通の業態とは大きく異なっており、それを再生す

と言われても晩節を汚すことになるかも知れないと、塾生は皆反対しました。しかし、塾長はその意見を聞いた上で、「ナショナルフラッグの鶴丸が無くなってしまいうことは、非常に悲しい。消滅を防ぐ為に誰かがやらなければならない」として、それを引き受けました。

後から入ってきた自分が給料をもらう訳にはいかないと、稲盛塾長は無報酬ということを条件としてこの話を引き受けました。そして7年の再生計画を3年程で完了、JALを再上場に導きました。私達はすぐ近くで見えていましたが、信じがたい話が沢山起きていました。TVなどでは運行経路を見直したとか、誰が聞いても当たり前のような話をされていましたが、私達には、「社長をはじめとして社員全員に経営の考え方を徹底的に叩き込む、それ以外にやることはなかった。それをやったら、これだけのスピードで会社というものは変わっていく。今までに私が話していた通りだろう」と話されていました。

稲盛塾長がJALを退任された後、JALの役員の方達が勉強会に来ていたことがあり、話を伺ってみると、稲盛塾長は相当に厳しくて参ったと仰っていました。ただ、怒った理由は、それが本当に世の中の役に立つのか、社員の為になるのかを考えているのか、自分の立場を守ろうとして意見を言うなということだったそうです。夜遅くに役員会議が終わった後も、会長室で書類に目を通して、その時の迫力も凄く、会長室に入るのを躊躇してしまったということも仰っていました。

稲盛塾長がブラジルで現地の塾生に話をされる機会があり、私もお供させていただきました。集まった塾生の中に、アマゾンの奥で一人でプロボリスを作っているAさんという方がいました。このAさんが夜に行われたパーティーで酔っ払って、稲盛塾長を呼び捨てで呼びつけるという「事件」が起きました。

稲盛塾長ご本人は特に機嫌を損ねたというような様子はなかったのですが、ブラジル側の代表者の方が憤慨して「彼は破門にする」と言い出しました。稲盛塾長はそれを宥め、その後もAさんに呼び掛けたり話をしたりと気にかけていました。そのお陰で、最終的にはAさんが仲間達の輪の中心になっていました。

また、塾長は現地の代表者の方に、アマゾンの奥で一人で仕事をしているAさんのような人こそ仲間に入れて一緒に勉強していくべきだと伝えていました。翌年の全国大会に参加した時、私はブラジルで出会った方達と再会し、彼らからAさんがあの後お酒をやめたということを聞きました。

稲盛塾長は経営には12か条のセオリーがあると仰っています。第1条の「事業の目的、意義を明確にする」から始まって12のセオリーが述べられているだけです。簡単に書かれていますが、なかなか深い内容です。

私は盛和塾に入塾する以前、ほぼ一つの取引先に頼った経営をしていました。その取引先と急に取引が停止となり、このままでは確実に倒産するということで、藁にも縋る思いで盛和塾に入塾をお願いしました。その時はまだ盛和塾ができて一年目でした。その結果、結論から言うところ倒産を免れた訳です。

稲盛塾長は私達に、自分達ばかりが勉強するのではなく、隣近所にも教えなさいと仰っていました。とはいえ、習うのと教えるのとでは違うと思っていたところ、近所のペンキ屋の方から、「あなたの会社は前は潰れる潰れると皆言っていたのに、今はあなたのところだけ儲かっていると言われていた。どうしてか」と聞かれました。私は盛和塾のことを伝えましたが、オーナー系企業が顔を並べているような中に、自分達のような小さな会社の人間が入れる訳がないと言われました。その時、私は稲盛塾長の言葉を思い出し、勉強会を開いて習ったことを伝えるということを始めることにしました。

勉強会に参加してくれた人達の会社は、段々と良くなってきました。先程のペンキ屋さんも、当初は従業員数人の年間利

益が100万円前後の規模の会社でしたが、5年目には2千万円の売り上げを出す会社になっていました。始動塾を始めて20年になりますが、その間に入塾者の中から7社が上場しました。勿論、始動塾に入ったから上場できたのではなく、皆さんの実力あってこそその結果ですが、それでも稲盛塾長の12か条には大変な意義があったと思っています。

本来はその1条ごとに1時間ずつ講義を行っており、一年間で丁度一回りします。本日は時間も限られていますので、最後の第12条だけ紹介させていただきます。第12条は「常に明るく前向きに、夢と希望を抱いて素直な心で」です。先程のペンキ屋の方はこの第12条があったから良かったとも言っていました。とても経営のセオリーだとは思えないかもしれませんが、常に明るく前向きでいるということは、24時間365日そうであるということです。常に明るく一瞬たりとも暗くならない、常に前向きでいるということを今決めてください。勿論、実際にはいつもそうのようにはられません。しかし、それを意識するかしないかではじめの一步が変わってきます。

そして何が起きてもチャンスだと、自分はついていると思って下さい。常にそうあろうと決める、そう思うだけで経営そのものが変わります。社員にもそれが伝播していきます。

夢と希望を「持つ」のではなく、「抱く」です。母親は生まれたばかりの自分の子どもは何があっても絶対に落とさないと云います。それが抱くということです。そのような夢は何か、希望は何か、そのレベルまで深く考えてみましょう。

そして素直な心で。経営的に言えば、離れたところから自分のことを一切の感情を入れずに客観的に見る、それが素直ということだそうです。

このように一つ一つ分解していくと、12か条というのは非常にうまく作られており、段々と腑に落ちていきます。皆、得手勝手に解釈しているということも否めませんが、結果的には決算書は良くなっていきます。今まで意識していなかったことを意識する、ちょっとした違いを作るだけのことです。

裏を返せば、この12か条は常に経営者としての覚悟があるかということ問うているものです。覚悟があるかどうかという問いを繰り返していくという勉強会を行っています。ボランティアでやっていますのでお金はかかりません。インターネットで「始動塾」で検索していただければ出てきます。また9/27、28に講師をお呼びして名古屋で合宿を行います。興味があればご参加ください。ご清聴ありがとうございました。



監修・発行	会場委員会
写真撮影	会場委員会